

学校概要

1 学区の概要

本校は、新庄市北部に位置し、北ブロック・東ブロック・南ブロックで学区が構成されている。

北ブロックの昭和地区は、大正14年に開拓講習所が開かれ、開拓事業が始まった開墾の地である。昭和2年より77戸が入植し、高橋猪一先生の指導の下、畑作農村づくりが進んだ。昭和39年からは開田が始まり、現在は、水田経営に加えて、酪農や果樹栽培・花卉栽培が盛んな地区である。

東ブロックの萩野地区は、神室山系のおもとに点在する6集落から形成されている。また、金山町と新庄市鳥越を結ぶ旧羽州街道沿いに位置し、歴史的に伝統のある地区で、「石動神社」など、文化財も豊富に存在している。近年、基盤整備がすすめられ、区画整理された水田での稲作が盛んである。

南ブロックは、JR泉田駅から萩野地区方面へ東西の通りと、南北に走る国道13号線に沿った地区である。地区内に新興住宅地があり、都市化の傾向にある。また、稲作の他に、近年、特にネギと併せて里芋栽培が盛んで、「泉田里芋」とブランド化している。

2 学校の沿革

<萩野小学校>	<泉田小学校>	<昭和小学校>	<萩野中学校>
<ul style="list-style-type: none"> ・明治9年 開校 ・明治25年 仁田山分教場を設置 ・大正11年 萩野尋常高等小学校となる。 ・昭和6年 土内分教場を設置 ・昭和16年 萩野国民学校となる。 ・昭和22年 萩野村立萩野小学校となる ・昭和30年 新庄市立萩野小学校となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治7年 開校 ・明治33年 赤坂地区が学区となる ・昭和12年 昭和分教場を設置 ・昭和20年 赤坂に冬季分教場を設置 ・昭和21年 塩野に冬季分教場を設置 ・昭和22年 萩野村立泉田小学校となる ・昭和30年 新庄市立泉田小学校となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和12年 泉田尋常小学校に昭和分教場を設置 ・昭和27年 萩野村立昭和小学校として独立 ・昭和30年 新庄市立昭和小学校となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和22年 萩野村立萩野中学校、萩野村立泉田中学校として開校 ・昭和24年 萩野村立萩野中学校として統合 ・昭和30年 新庄市立萩野中学校となる。 ・昭和46年1月 火災により校舎消失 ・昭和46年9月 新校舎落成式

平成27年4月 総称「萩野学園」（萩野小学校・萩野中学校）開校 ～ 県内初の小・中一貫教育校

3 義務教育学校「萩野学園」までの経緯

- 平成17年3月 「新庄市長期教育プランいのち輝く新庄もみの木教育プラン21」策定（小・中一貫教育の導入に関する検討開始）
- 平成21年6月 「校長会フォーラム」（後に「小・中一貫教育推進シンポジウム」と改称）で萩野中学校区による実践発表
- 平成21年8月 「萩野地区小・中一貫教育推進会議」の開催、「施設一体型小・中一貫教育校」新設の要望書提出、宮城県登米市立豊里小中学校視察、小中一貫教育講演会（演題：「施設一体型小・中一貫教育校」の可能性 講師：東京学芸大学 佐野亮子氏）
- 平成22～23年 萩野中学校区に「施設一体型小・中一貫教育校」を視野に入れた実践研究委嘱
- 平成22年5月 「新庄市立小・中一貫教育校基本計画策定委員会」立ち上げ、「カリキュラム編成部会」「施設設備部会」の組織
- 平成24年3月 「新庄市立小・中一貫教育校基本計画」完成
- 平成25年8月 新校舎・体育館建築起工式（平成27年2月 新校舎・体育館完成）
- 平成27年4月 「新庄市立萩野学園」開校式典
- 平成28年4月 義務教育学校の制度化
- 平成30年4月 萩野学園 PTO 発足 11月 東北地区小学校特別研究協議会山形大会